

# 平成25年度 6次産業化 ネットワーク活動全国推進事業

## 第1回

## 6次産業化推進シンポジウム

# 実施報告書

12月18日(水)

### 【会場】

東京コンファレンスセンター品川5階大ホール

主催：野村アグリプランニング  
& アドバイザリー株式会社

後援：農林水産省

協力：野村証券株式会社

[www.nomuraholdings.com/jp/company/group/napa/](http://www.nomuraholdings.com/jp/company/group/napa/)



# プログラム

13:00～13:10 『開会の挨拶』  
野村証券(株)  
野村アグリプランニング&アドバイザー(株)

代表執行役副社長  
会長 沓掛 英二



13:10～13:20 『農林水産省の挨拶』  
農林水産省

農林水産副大臣 江藤 拓



13:20～13:30 『表彰式』  
農林水産大臣賞 農業生産法人こと京都株式会社  
食料産業局長賞 株式会社庄内こめ工房  
有限会社ひよこカンパニー  
馬路村農業協同組合  
株式会社ココファーム  
あしきた農業協同組合



13:30～14:30 『受賞者取組の紹介 ～6次産業化の実践ポイント～』



14:30～14:50 『審査委員長講評』  
東京大学大学院農学生命科学研究科教授

本間 正義

(休憩)



15:20～16:20 『パネルディスカッション  
～6次産業による農林漁業の成長産業化に向けて～』



農業生産法人こと京都株式会社 代表取締役 山田 敏之  
馬路村農業協同組合 代表理事組合長 東谷 望史  
農林漁業成長産業化支援機構 投融資本部長 岸 憲正  
(コーディネーター)  
野村アグリプランニング&アドバイザー(株) 取締役社長 西澤 隆

16:20～16:30 『閉会の挨拶』  
野村証券(株)  
野村アグリプランニング&アドバイザー(株)

執行役員  
取締役 新井 聡



16:30～17:00 『交流会』



(敬称略)

## <農林水産省の挨拶・表彰式>



- 江藤副大臣より挨拶をいただいた後、農林水産大臣賞が江藤副大臣から、食料産業局長賞が食料産業局三浦次長から授与された。

## <受賞者の取組の紹介>



- 受賞者の取組については、事業の強み、これまでに苦労した点、連携のポイント、今後の目標について、インタビュー形式で紹介した。

## <パネルディスカッション>



- 6次産業化を進めるために必要な経営資源をどう獲得するか、イノベーションの創出やバリューチェーンの構築方法、農林漁業成長産業化ファンドの活用方法について、A-FIVEの岸投融資本部長も交えて議論を行った。

## <交流会>



- シンポジウム終了後、参加者と受賞者の名刺交換、意見交換を行なうための交流会を実施した。

# 「6次産業化優良事例表彰」受賞者

## (1) 農林水産大臣賞 1名

受賞者名：農業生産法人こと京都株式会社  
(京都府京都市)

### 【取組内容】

- 自社及び契約農家(30戸)が栽培した「九条ねぎ」を自社工場において、カットねぎ等に加え、首都圏のラーメン店(300店と独占契約)、スーパー、百貨店などに販売。
- 売上高は、就農当時の400万円(平成7年)から5億9千万円(平成24年)まで拡大。
- 平成25年4月に、(有)トップリバー(長野県)や(株)さかうえ(鹿児島県)と提携し、統一ブランド「ベジレクト」として野菜直販事業を展開。
- 平成26年1月には、全国のねぎ生産者と連携し、「こと日本」を立ち上げ、供給体制を強化するとともに、将来的には輸出も予定。

### 【受賞のポイント】

- 京都特産の九条ねぎ(青ねぎ)を食材として利用しやすいようカットし、供給することで、青ねぎの食習慣が少ない関東でラーメンの食材としての需要を新たに創出。
- 低温による鮮度管理を徹底し、カットねぎに新鮮というバリューを付加するとともに、他のねぎ生産者との連携による商品の周年安定供給を実現し、販路を開拓。



九条ねぎ



ねぎの加工品



## (2) 食料産業局長賞 5名

受賞者名: 株式会社庄内こめ工房  
(山形県鶴岡市)



### 【取組内容】

- 山形県庄内地方などの米生産者120戸を会員とし、会員の米を出荷・販売。低タンパク米の生産・販売や、パックライスの中国輸出など新規事業にも取り組み、平成24年度の売上高は約6億6千万円。

### 【受賞のポイント】

- 食味計で全ての出荷米を検査し、データに基づき、おいしさを数値化して評価。上位の栽培方法を会員内で共有するなど、会員全体での栽培管理の統一と品質向上を実現。実需者ニーズを踏まえ、高い品質の米を大ロットで安定的に供給することにより、販路を開拓。

受賞者名: 有限会社ひよこカンパニー  
(鳥取県八頭町)



### 【取組内容】

- 鳥取県では唯一の平飼いによる養鶏を行い、天美卵(1個100円)を生産するとともに、その卵を原料として菓子・スイーツを製造・販売。今後、直販エリアの拡大、レストラン、農業体験農園の開設等に取り組み、さらに事業を拡大する予定。

### 【受賞のポイント】

- 鳥取県で初の平飼いによる飼育や、飼料に添加物や抗生物質を一切使用しないことで、製品の付加価値を高め、自社ブランドを確立。全国の顧客に対して、製品の良さを伝えながら、直接販売。

うまじむら

受賞者名：馬路村農業協同組合  
うまじむら  
(高知県馬路村)



【取組内容】

- 農協が、組合員190名から市場より高い価格でゆずを全量買い取り、ポン酢醤油やゆずドリンクを中心に94種類の商品に加工し、販売。今後、ゆずを原料とした化粧品事業の拡大等、多様な事業者との連携による商品開発に取り組んでいく予定。平成24年度の売上高は、約33億円。

【受賞のポイント】

- 農協が組合員から原料を全量買い取り、加工から出荷、販売、広報、クレーム対応に至るまで、一体的に販売戦略をプランニング。「馬路村」という村名を前面に出した商品名とすることにより、地域ブランドを確立。農業と観光を結びつけた新たなビジネスモデルを構築することに成功。

受賞者名：株式会社ココファーム  
きくちし  
(熊本県菊池市)



【取組内容】

- 規格外の卵も含めた「朝取りたまご」を1箱3kg 1,200円で販売するという従来にない方式で販売。また、地元生産者250名から出荷された野菜など多様な商品を直売所で販売するとともに、併設したレストランで提供。平成24年度の売上高は、約27億円。

【受賞のポイント】

- 産卵から約1時間で、併設する直売所において、消費者に対して直接販売するシステムを構築。地域の農家とも連携し、多様な商品の提供により、来訪者を拡大するとともに、地域活性化にも貢献。

受賞者名:あしきた農業協同組合  
あしきたまち  
(熊本県芦北町)



【取組内容】

- 農協が、デコポンやサラたまちゃんの加工品の開発、販売に取り組み、組合員から規格外品を加工原料として、通常より高値で買取。県内外120以上の多様な事業者とネットワークを形成し、これまで約400アイテムに及ぶ多様な商品を共同開発。平成24年度の直販売上高は約18億円。

【受賞のポイント】

- 多様な事業者と連携し、加工品の共同開発を行うことにより、消費者に魅力的で豊富な商品開発を実施。市場出荷、メーカー・小売への直販、直売所やコンビニでの販売など多様な販路を確保し、組合員のニーズに応え、売上を拡大。

<試食・展示の様子>



- 多くの参加者が試食・展示コーナーで受賞者の商品を試食し、また実際に交流することで受賞者の取組について理解を深めた。